

4月4日(月)

## パン以上のもの

聖書朗読 マタイ 6:5～15

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。

マタイ 6:11

神様に願い事をする際に、神様にとっては大きすぎる願いごとは何も無いことを私たちは知っています。私たちが神様を愛する時、神様は私たちの良きことのために全てを組み合わせで働いて下さいます。たとえ、私たちの状況が苦しいものになっても、神様は、予期せぬ祝福を、私たちに与えて下さいます。

しかし、私たちがいかに多くのことを祈っても、神様の御国や神様の義には遠く及びません。イエス様が私たちに祈ることを教えられた時、今日一日に必要なパンだけを祈るようにおっしゃられたことは興味深いことです(訳注:英語の聖書では「パン」と記載されていますが、日本語の聖書では「糧」と訳されています)。

パンだけしか食べない日が、あなたの人生のうちにこれまで何日ありましたか? もしあったとすれば、本当にパン一切れしか買えない日がそのうちに何日ありましたか?

今日、試してごらん下さい。あなたの神様への唯一の祈りとして、一日を生きるのに必要なパンだけを求めてごらん下さい。そして、次に、夕食のパン以上に、神様があなたに与えたもう全てのものを数えてごらん下さい。パンに加えて、あなたは、三食の食事をしませんでしたか? 交通機関、衣服、教育や仕事はどうでしたか? 家族とのささやかな楽しみもあったかもしれませんね。私たちが今こうして生きていることさえも、神様の贈り物であることを、私たちが理解する時、私たちに對する神様の慈愛に溢れる圧倒的な寛容を覚える、その第一歩が始まるのです。

讃美歌 86

祈り 主なる神様。私たちが飢えることのない今日必要なパンをお与え下さい。私たちにそれ以上のものを与えられることをあなたが望まれた時、あなたの慈愛に溢れたご寛容に對して、私たちの心を感謝の気持ちで満たすことが出来ますように、どうかお導き下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

マーク・S・アダムス

テキサス州 コーパス・クリスティ

## 今日の力

2016年4月4日～4月10日

翻訳 小出友紀

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

4月5日(火)

## 人生にあって集中すべきこと

聖書朗読 マタイ 6:19~24

あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

コロサイ 3:2

ケニー・チェズニー(Kenny Chesney)の古い歌(”Everybody wants to go to heaven”)で、「みんな、天国に行きたいと願っているけど、今行きたいとは誰も思わない」という歌詞があります。この世界に住む多くの人が、天国について、この世界を超える少しばかりの希望しか抱いていないのです。悲しいことに、実に大多数のクリスチャンが、似た考えで生活し、地上の物事の虜になっています。

私たちのこの世の財産や予定が邪魔になって、私たちは、神様がご用意して下さった御国のまだ見ぬ祝福に至ることができないのです。

私たちの文化は、私たちにこの地上の方法で考えるように教えますが、神様は私たちに対して、より高き見地から考えるように求めておられます。神様は、私たちに天国の方法で考えるように求めておられるのです。私たちの望みは、聖書にある神様のお約束を読み、神様がご自身の民に対して、いついかなる時にも与えて下さる神様の誠実に耳を傾けることにより、大きくなっていくのです。

讃美歌 298

祈り 愛する神様。私たちは私たちの方法で人生の生き方を探し求めようとします。私たちは、神様が私たちに下さった希望よりも今日の物事に集中してしまいます。どうか、私たちの過ちをお赦し下さい。そして、大切なものに集中することができるように、どうかお導き下さい。私たちの心を地上の物事よりもいと高きところに置くことができますようにお導き下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ダグラス・P・エドワード

ミシガン州 スターリング・ハイツ

4月6日(水)

## 岩の上に抛り頼む

聖書朗読 マタイ 7:24~27

むしろ、心の中でキリストを主とあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。

Iペテロ 3:15

私たちは、聖書に、偶像礼拝について記載されている箇所を頻繁に目にします。つまるところ、人間たちが多く集まる集団においては、美術史の本の前半部分を飾るような彫像を礼拝する、典型的なメロドラマのような筋書きの偶像の神々に対して信仰を傾ける時代がありました。こういった偶像礼拝はこの地上から完全にはなくなりますが、その一方で、現在の偶像礼拝は、しばしば、別の形をとります。例えば、30歳を超えたクリスチャンが、生活の安定という祭壇を崇拝することが罪を犯すことにならないのでしょうか？

額面通りに受け取れば、たくさんの貯金や、食べ物がたくさん入った冷蔵庫や、よく手入れされた自家用車といったことには何も悪いことではありません。知識を追い求めたり、新しいスキルによって自信を身につけたり、旅行を楽しんだりすることは、本質的には悪いことではありません。しかし、神様がお造りになった何かを、神様の座と置き換えることは、偶像となるのです。

私たちはクリスチャンとして、滅びの罫である偶像礼拝の呪縛から逃れています。それは、私たちは罪のゆえにいったん死に、それゆえに、罪のうちにあってももはやこの世界には属していないからなのです。この世の物事が私たちに失望した時、私たちを貶めた時、岩なるイエス様ゆえに、私たちは揺るがないのです。

讃美歌 280

祈り 愛する神様。あなたから遠ざかり、この世にあるものに置き換えようとするあらゆる企みを、あなたによって阻んで下さい。私がすること全てのうちにあって、あなたを追い求める分別を授けて下さい。私が知るものすべてのうちにあなたの愛を私に示して下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ジョエル・M・セルビー

ノースカロライナ州 サクサパハウ

4月7日(木)

## よりまさったお方

聖書朗読 マタイ 12:38~45

この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。使徒 4:12

今日の聖書の箇所では、イエス様は、しるしを求める当時の宗教的指導者達と論戦をされました。悪霊に憑かれた人をイエス様が癒されるのを見て、彼らは、イエス様が悪魔どもの支配者であるベルゼブルの力によって、それを行ったのだと言っていました。イエス様は、ヨナのことを彼らに思い出させました。ヨナは、最終的に神様のご命令に従って不承不承、異教徒であるニネベの人々に対して説教をして、悔い改めへと導いたのでした。更に、イエス様は、シバの女王のことを彼らに思い出させました。シバの女王は、ソロモンの叡智にあやかるべく、遠路を旅した異教徒の指導者の一人でした。ヨナやソロモンよりもはるかにまさった指導者が、彼らがいる場所にいらっしゃったのです。そして彼らはその御方を拒否したのです。

今日では、名前は世界中あまねくところまで広まります。例えば、最高裁の判事です。他の人々は、大統領や、自身の祖父を引き合いに出すかもしれません。歴史の授業では、主役、敵役、勝者、敗者、戦う者、そして平和をもたらす者達の名前が教えられます。

今日の聖書の箇所で、「ここにまさったものがいるのです」とイエス様は二度仰いました。歴史には、多くの偉大な名前が刻まれています。そのすべての中で、最もまさったお方の名前をどうして忘れられることができるのでしょうか。尊敬を集めたイスラエルの預言者や王達、彼らよりもすぐれた方がここにいらっしゃるのです。

讃美歌 121

祈り 神様。あなたがひとり子をお送り下さり、歴史のうちにあって下さったことに感謝申し上げます。どうか、私が、私の歴史をそして私自身をあなたに委ね続けることができますようにお導き下さい。

イエス様の力強い御名によってお祈りいたします。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン  
ネバダ州 カーソン・シティ

4月8日(金)

## 種を蒔き雑草を取り除きなさい

聖書朗読 マタイ 13:18~30

このたとえの意味はこうです。種は神のことばです。ルカ 8:11

私の叔母のアルマは種のカタログを見るのが大好きでした。毎冬、彼女は、計画を立てて、春に種を蒔くことができるようにと種を注文していました。彼女の庭は、道のそばにあったので、彼女は、通りすがりの人を楽しんでもらおうと、2、3列の花が咲くようにと種を蒔いていました。花は、生い茂った野菜の列をうまく隠していました。全ての種は良い土壌に蒔かれていました。

クリスチャンとして、私たちは、イエス様が語られたように(マタイ13・ルカ8)、種を蒔くことを計画しなくてはなりません。私たちが種蒔くところには、雑草が生い茂るかもしれません。しかし、それは私たちの心配することではありません。イエス様は、刈り入れの時にはそれに対処して下さいでしょう。

私たちは、いつであっても、どこであっても、御言葉の種を蒔かねばなりません。叔母アルマのように、私たちは計画することが出来ます。私たちは、昼食で誰かと出会うことができますし、私たちの家や、誰かの家で、聖書の勉強のために友人を招待することもできます。私は、「聖書の勉強に興味がありますか？」と尋ねた時に、熱心な反応が得られると、とても嬉しくなります。私たちは、心のうちに神様の御言葉をまだ持たない人々と、私たちが既に持っている素晴らしい贈り物を分かち合う必要があります。その人々は、自身がいる土壌についてはコントロールすることができますが、まずは、私たちが種蒔く者になる必要があるのです。

讃美歌 225

祈り 愛する神様。あなたの御言葉に感謝いたします。私たちがたくさんの果実を得ることができる良き土壌でありますようにお祈りいたします。あなたの御恵みを他者と分かち合うことができますように、どうかお助け下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ラニタ・ブラッドレイ・ボイド  
ケンタッキー州 フォート・トーマス

ありがとう， ハダサー

ユージニア・カイザー  
ヴァージニア州 アーリントン

偉 く な る た め に

ジョイス・ハーディン  
テキサス州 オースティン